

令和5年度 秋サケ河川そ上予報

1 令和5年度河川そ上予測

河川毎に平成23年級以降の年齢別回帰尾数、3～5年前の卵収容実績と過去の旬別河川回帰率を用いて時期別の河川そ上予測を行い、12月上中旬をピークとする4万尾となりました（図、表）。

各河川の旬別のそ上予測について、別表1のとおり令和4年度の実績値（上段）、令和5年度予測上限値（2段目）、予測値（3段目）、予測下限値（下段）をとりまとめました。

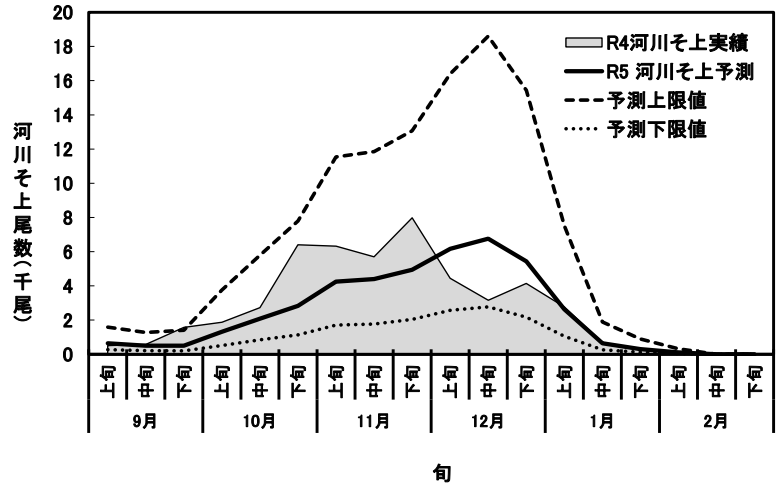


図 令和5年度旬別河川そ上予測と令和4年度旬別河川そ上実績

表 令和5年度河川予測結果

単位：尾

	予測下限値	予測値	予測上限値
沿岸河川	17,281	42,357	114,517
北上水系	154	492	2,246
合計	17,435	42,849	116,763

2 課題

予測どおり43千尾の親魚がそ上した場合においても、雌の比率が50%、雌1尾の卵数が2,500粒と仮定すると、雌を80%使用しても4,300万粒程度の採卵となり、7,500万尾を生産するための種卵確保が困難と考えられます（別表2）。

ふ化場再編マスタープランに従って、早期から種卵確保できるよう体制を整えておくことが重要です。

岩手県全体の予測については、令和5年7月31日（月）に公表予定です。